

姥ヶ山自治会報

第 80 号

発行 者
姥ヶ山自治会
阿部博一

印刷
新潟マイクロコンピュータ株

平成三十年九月三十日現在
姥ヶ山自治会動向
世帯数 一、四二〇戸
班数 一二〇班

姥ヶ山まつり

まつり実行委員長 浅井広己

姥ヶ山まつりは、諏訪社境内での盆踊りをメインにした、運動会・さいの神と並ぶ自治会の大イベントです。

当日は諏訪社のホラ貝・太鼓の昔ながらのお供物奉納昇りから宵宮行事が開始され、「五穀豊穣」「商売繁盛」「地域の安寧」を願う祝詞等が読み上げられた後に自治会主催に移り、盆踊り開始となり、諏訪社行事と自治会行事を分けての、祭りとしています。

ただ、考えて貰いたいのは、姥ヶ山の成り立ちです。地図に無い湖と呼ばれたこの地に先祖が各地より移り住み、部落を形作って約三百年。きつと、諏訪社でのまつりは、姥ヶ山地域を一つに纏めて来てくれたのでしょう。

百件程の農家が纏まつての諏訪社祭り造り、そして千四百戸の自治会会員の出店、盆踊り等の準備作業を、祭りの前日と一緒に作業をして、終われば、境内での懇親会。この頃は世代交代もあり、皆さんとの顔合わせの場ともなっています。

義理・人情・しがらみ
厄介この上ないのですが、昨今の危うい世情の中では、地域コミュニティーの維持には絶大な効力を見せてくれていると信じます。

また、諏訪社の大祭には姥ヶ山地内近隣自治会長さん(京王・弁天橋・弁天橋中央・美の里・高志二丁目)を招待しています。

さて、今年の祭りは、日・月曜開催となり、さぞや人手が凄かろうと目論んでいた(例年は四百人〜五百人の人出)天候不順の直中だったようで、丁度乾季と雨季の間にスツポリ嵌り、盆踊りが始まる頃には大雨となり、境内に水溜りが出来る始末に中止を考えたいたら、雨降りの中で踊り子さんが輪を作り始めていて、地方さんも雨に負けない声での亀田甚句を謡い、踊り子の皆さんの足元は泥だらけでしたが、終わってから「楽しかった」と言われ、感謝感激な雨中の盆踊りになりました。

ポツポツ焼き屋の売り上げがならず、自治会テント販売も振るわず、そのうえ祭り後の後片付けも異例で、神楽殿とか幟旗・紅白幕・テント・テーブルの片づけが、一週間も雨の為にできなかったのも初めての事でした。

さいの神と祭りでは、外作業の準備が天候に左右されて大変なのですが、大変な時に一緒に苦労したといった体験が地域の絆をより深くしてくれていると感じます。

自治会活動をはじめ、各種のボランティア活動には、各人合う合わないが有りますが、様々な人との出会いや話が楽しく、私は呑めませんが、姥ヶ山は私も含め変人ばかりで飲みものにけーしょんも面白いですよ。

此処が終の棲家と成りしかば、より良い姥ヶ山に育てませんか、一緒に。
最後に、姥ヶ山まつり・諏訪社大祭にご協力戴いた、消防団員・諏訪社氏子・そして自治会員の皆さんにお礼申し上げます。



子どもみこし



ゲームコーナーは大盛況



雨の中での盆踊り

姥ヶ山会館建設について

姥ヶ山会館建設委員長 小林俊昭

現在、姥ヶ山自治会では皆さん誰にでも快適に自治会館を使ってもらえるように新自治会館建設の話し合いがされています。

ここで現在の会館が建設された経過を少し触れておきます。

現会館は新潟市所有の(何故新潟市所有なのか不明)土地に昭和四十七年に「姥ヶ山共財会」と言う団体によって建設され、その後姥ヶ山自治会に管理・維持・所有が移管され、度々の修理、増築を経て現在に至っています。(姥ヶ山共財会とは姥ヶ山集落の共有の財産を管理していた団体です)

しかし建設されてから四十六年が経過し、皆さんもご存知のように度々雨漏りがある様になり、修理に大きな金額が必要となり、又当時予想も出来なかつたほどにこの地域が発展し、自治会員が増え、現在では新潟市一のマンモス自治会となっています。

現在姥ヶ山自治会では代議員制度を行っていますが総会ではそれでも中に入りきれないほどの人たちが出ているような問題が発生している状態です。加えて、三陸地震発生の後、耐震強度の問題がでてきました。

今の会館の状態では、いざという時に、到底安心して使ってもらえる様な建物ではありません。

その為、新自治会館建設の機運が盛り上がり現在に至っています。

当然、建設費の金額の問題もあり、平成三十三年度完成を建設の目標としています。

現時点では、中の構造をどうするか、それによって建設費がどれ位かかるのかを試算する前の段階です。

構造的には現在の会館と大きく変わる事のない様な構想をしています。

利用する人が安心して使う事ができる様に、耐震強度はより強度の高い建物とし、総会時には、ゆつたりと人が入れるように広間をもっと大きくし、備品など(座布団、テーブル等)をしつかりと収納出来るスペースがほしいと考えています。加えて人にやさしく、車イスを使用される人にも、安心して便利に利用できる構造を想定しています。

まだまだこれから建設委員の皆さんで話し合つて今後の事を詰めていかなければなりません。

目下、最大の課題は建設費の問題です。今、自治会では建設の為に積み立てを行っていますが、来年度には消費税も上がるということです。目標とする時期までに建設するには現在の積立金額では少し無理のようで、自治会として借入れを検討しています。

建設委員会では、今、収納スペースを含めた内部の間取りを検討しています。今後も、使い勝手の良い会館にすべく、検討してまいりますので、皆さんのご希望をお寄せください。よろしくお願いたします。



新しい姥ヶ山会館の外観予想図

落語の会

女性部長 高橋紀子

今年度の女性部新メンバーでの活動の一回目として、七月八日に落語の会を開催いたしました。

昨年度好評につき再度の開催で、部員経験者のアドバイスがあり、計画はスムーズに行えましたが、参加希望者は、当日、直接会場にお越し頂くかたちを、「何人の方が来て下さるのだろうか」と不安でしたが、そこは楽々様の底力。定刻には老若男女の多くの皆様のお顔を拝見でき、大変有難く安堵いたしました。

三流亭楽々様の落語はとても分かりやすく又、身近な防犯の促しも語られ、会場内の方々の声を出しての大笑い。そして共感のうなずき、今年も良かったね。の声がこちらで聞こえ好評を頂きました。

落語の後はお茶とお菓子をお供に、初対面の方や久しぶりの再会の方等々、ここでも笑い声が飛び交い楽しいひと時となりました。

二回目の活動は十二月二日の「苔玉と寄せ植えの会」です。この会報がお手元に届く頃には終了していますが、ご参加いただいた皆様のお部屋や玄関などに飾られ、楽しんで頂いていることと思います。

年間を通じ女性部は催事の他、お祭り、運動会、クリーン作戦、防災訓練、今後のさいの神等々の行事の一員として、出来る範囲内で活動を致しました。

来年も部員の皆様と共に、試行錯誤し、〇〇会を開催しますので、その折には奮ってのご参加をお待ちしております。併せてご協力の程よろしくお願い致します。



今年度の事業報告

文化育成部長 本間康夫

文化育成部長に就任し、何が何だか分からないまま、夏休みラジオ体操が始まり、次に姥ヶ山祭りの準備、後片付けの応援をしながら運動会の準備で部員の方々の打ち合わせ等、初めての事への不安を抱えながらも皆様からの指導や協力を頂きまして、多少迷惑をかける事があったかもしれませんが、何とか無事に開催する事ができました。有り難うございました。

◆夏休みラジオ体操

【目的】

体操を通じて子どもと大人の親睦を図り、安心安全な町をつくり規則正しい生活で、健康増進に寄与する。

【実施日・実施場所】

七月二十四日から八月十日

桜が丘小学校

七月二十五日から八月十日

諏訪神社

【内容】

校内選出のリーダーの元、NHK朝のラジオ体操の放送に併せて行った。

【参加者数】

子ども 約百二十名 大人 約五十名

※反省 子ども達が、ラジオ体操をあまり理解していない。

◆町民大運動会

【目的】

運動会を通じて地域住民の健康増進と親睦を図るため。

【実施日・実施場所】

十月七日 桜が丘小学校体育館

【内容】

十一の競技で実施し、個人競技には一位から三位まで賞品、他は参加賞



団体競技は勝組には賞品、他は参加賞を授与した。最後に抽選会を行った。

【参加者数】

子ども 百二十名・大人 百六十名

※新潟市農業協同組合様より多大なる協賛を賜りました。

最後に参加者、関係者の皆様に感謝申し上げ活動報告とさせていただきます。

アメシロ駆除

衛生部長 小熊由紀夫

例年行われているアメシロ駆除は、六月下旬と八月下旬に行っていましたが、ここ数年はアメシロの発生が早まっており、駆除の時期を逃し被害が増えている。特に二回目の発生のピークを迎える時は、お盆と姥ヶ山祭りの準備と続く為、遅れがちです。二回目の作業は八月上旬をお勧めします。

アメシロ駆除は自治会の業務ですが、これは自治会が行うのではなくアメシログループが自主的に行っております。日頃、近隣の方とあまり接する事のない方もいらつしやると思っておりますので、アメシログループのある地域の方は、是非ご参加下さい。

なおアメシログループでない方で、個人で駆除をやりたい方には、薬品の提供と背負い式動噴機の貸し出しを行っております。希望する方は各衛生部員に申し出て下さい。

今年度のアメシログループの方々に於かれましては、駆除作業ご苦労様でした。



アメシロ駆除作業の様子

第十九回 防災訓練

生活安全部長 松原益雄

当自治会は「姥ヶ山自治会防災会」の組織名で、新潟市に自主防災組織として登録しており、防災資機材の購入や防災訓練等の組織活動に対して、助成金を申請することが出来ます。

今年の防災訓練は、十一月十一日（日）、山潟中学校を会場に、日本赤十字社のご指導で実施しました。

内容は、応急手当訓練として、止血法と三角巾による包帯法、AEDを使つた心肺蘇生を訓練しました。

赤十字社の場合は、AED等の機材をたくさん借用できるため、今回も大半の方が体験できたと思います。

今回は参加者数が四十六人と少なく、左表のとおり、従来は百人前後でしたが半減しました。

今後は、役員会等でその要因を検討し、見直しを図りたいと思います。

訓練は、いざという時にあわてずに行動できるよう繰り返し行なう事も目的です。毎年の防災訓練にご参加いただけますよう、お願いいたします。

| 年度 | 参加者 | 会場 | 指導 |
|-----|-----|------|-----|
| H25 | 116 | 山潟中 | 赤十字 |
| H26 | 107 | 桜が丘小 | 赤十字 |
| H27 | 103 | 桜が丘小 | 消防団 |
| H28 | 88 | 桜が丘小 | 赤十字 |
| H29 | 98 | 桜が丘小 | 消防団 |
| H30 | 46 | 山潟中 | 赤十字 |

防災訓練参加者数の推移



「さいの神」準備作業

さいの神プロジェクト 事務局

十一月十一日（日）午前、さいの神プロジェクト実行委員と小中学生・先生方の計六十八人で、「孟宗竹」「わら」「細竹」「葦」の四班に分かれ「さいの神」の準備作業を行いました。

前日までの雨も上がり、晴天の中、作業は順調に完了しました。

今年度は、自治会役員の改選があったり、各班の作業責任者が一部で交代されたりと、メンバーの変更がありましたが、例年通りの準備が整い、ほっとしています。

なお、実行委員の中で、次回の担当作業を替わりたい方は、姥ヶ山まつりの頃までに事務局に申し出て頂ければ、検討いたします。

各作業責任者の方、実行委員の皆様には感謝申し上げます。当日の組立て・スルメ準備の際にも、ご協力をお願いいたします。

一月十三日（日）午後三時に点火となります。多数のご参加をお待ちしております。



孟宗竹（阿部 旬）21人



葦（馬場藤一）14人



細竹（高橋隆夫）10人



わら（桜井政雄）23人



クリーンにいがた推進員 施設見学会(古紙のリサイクル)

六丁目ブロック長 高野鋭吉

十一月に企画されました古紙のリサイクル見学会に参加しましたので、その概要について報告します。

一・机上研修

「ぼーっと生きてんじゃねーよ！」
と言われたも同様でした。

○まとめ

- ・紙リサイクルの意義↓資源の有効利用やごみの減量につながります。
- ・古紙の種類ごとに分別する理由↓製品によって、原料となる古紙の種類が異なるためです。
- ・古紙に禁忌品(紙の原料にならない異物)を混ぜてはいけない理由↓再生された紙の品質トラブルを防ぐためです。



禁忌品の例
(燃やすごみへ)

○日本国内での、紙の消費量は、一年間に約2,602万トンです。換算すると、国民一人当たり年間約205kgを消費しています。この2,602万トンのうち、約80%はリサイクルするために回収されています。リサイクル率が高い↓ごみ減量化に効果あり

○「雑がみ」の主な例
投げ込みチラシ(個人宅に業者さんが投函したチラシ)。

・包装紙・紙袋・封筒・はがき・ダイレクタメール・学校配布のプリント・ノート
・使用済みのコピー用紙・メモ用紙・紙袋ファイル・ティッシュ・お菓子・おもちゃなどの紙箱・カレンダー・トイレットペーパーの芯などです



ビニールや金属部分は取り外してから。

○古紙に出してはいけない!!!
リサイクルできない紙類の例
※これらは「燃やすごみ」に出してください。

- ・かばんや靴の詰物(かばんの緩衝材など)。
- ・昇華転写紙(アイロンプリント紙)。
- ・箔押しされた紙(金・銀の折り紙など)。
- ・圧着はがき(公共料金の請求書など)

二・工場見学

北越コーポレーション(株)新潟工場
世界最大級の高速オールオンラインマシンN-9を見学しました。
マシンN-9 その大きさに圧倒されました。
騒音については、耳が遠いせいか気になりませんでした。
会社の担当職員をはじめ、事務所内の職員の全員起立のおもてなしが素晴らしいと思いました。



< 高速オールオンラインマシン N-9 >

窓



市長選も終わり、中原新体制となった。残念ながらこの地域が推す候補は落選したが、三者鏖迫り合いの激しい戦いであった。

しかし選挙は惜しくても勝たなくては意味がない!.....

新市長には、投票者の30%、有権者の15%の支持しかないと肝に銘じ、篠田市政を継承するのではなく、篠田市政十六年を検証総括したうえで、新たな市民目線で市政の運営に努めてもらいたいものだ!

ただ、空港・港・駅の拠点化等、市の財政だけではどうにもならない話ばかりで、ビジョンが見えない。

また当選後は、BRT等新交通システムについては、早急に新潟交通と協議すると言っているが、その前に市民の生の声を聴くのが先ではないかと疑問を感じる?.....

市長選の投票率は、前回より上がったとは言え、それでも50%にも満たない状況である。半数以上の有権者が投票所に足さえ向けない。

高齢者や、病気怪我等様々な理由で行けない人はしょうがないとしても、これだけ期日前投票が長期間あるのに行きもしない若者たちが大勢いる。投票することは、権利でもあるが義務でもある!.....

戦後少しずつ根付いてきた民主主義が、こういつた「どうせ自分の一票で社会や自分の生活が変わる訳がない」という人たちのせいであらうか?.....
と思うのは私だけであらうか?.....

(O.S.M)



今号の発行に際しては、若干の初動遅れありましたが何のその寄稿していただいた皆様には大変感謝しております。編集に携わる者にとっては非常に頼もしい限りであります。流石は姥ヶ山自治会、人材の厚さを感じます。

以前、姥ヶ山屋号マップなる資料を目にしました。五郎助、権左衛門、彦右衛門、五助等々、個性的な名前が組ごとに組織されており、興味深い資料でした。

わが自治会も千四百戸を超える、山潟地区有数のスケールとパワーを持つ自治会となっております。これも偏に先の屋号を持つ先人たちの熱意と組織維持能力の賜物と敬服しているところです。

夏の猛暑、秋らしくない秋を経て冬らしくない冬に進もうかと思える昨今ですが、皆様の予想は如何でしょうか?平成三十年度の自治会活動も、一月のさいの神を残し終盤に差し掛かっており、各専門部に於いても、やり残しの無い事を願いつつ無事総会を迎えたいものです。

新米総務部

投稿募集

最近気になること、いい話、川柳など、まじめなご意見から笑えるお話まで、会員の皆様の原稿を募集しています。発行は、年2回です。詳しくは、各ブロックの総務部までお問い合わせ下さい。